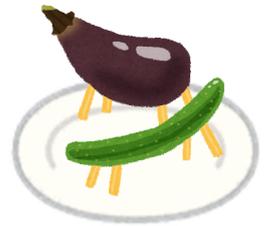


川上ダム通信

2021
8
月号



Vol. 192
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中！

https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ

[e-mail:somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

祝

管理棟完成！！



管理棟の外観



多目的室の内観



管理棟の内観

昨年の夏より開始した川上ダム管理棟の工事が終了し、川上ダムの建築工事では発電建屋に続いて完成第2号となりました。

川上ダム建設事業における建屋の設計では、周辺環境との調和、各施設の統一性などの景観バランスに配慮し、伊賀市の特色を踏まえることをコンセプトにしています。

管理棟の例をあげますと、見学者に対しての説明会場などとして使用する多目的室には、床に伊賀市産の杉フローリング材を使用し、ダム湖側に面した大きな窓からは、ダム周辺の豊かな自然を眺められるようにしています。

そのほかにも管理棟では地域の特色を反映した色調を取り入れており、ダム管理施設として地域の皆さまに親しまれる建物となることを切に思います。

川上ダムでの建築工事は、今後ダム堤体上に取水設備などの建屋を建築してまいります。

4月にダム堤体の打設が終了するなど少しずつ景観の全貌が見えてきました。鳥瞰パースのように、自然と構造物が作りだす景観をご期待ください。



川上ダムの鳥瞰パース

【工務課 山田 聖】

川上ダム建設事業の進捗報告

川上ダム建設事業では、令和3年4月20日に堤体コンクリート打設を完了しました。今年度からの試験湛水開始、令和4年度末の事業完了に向け、関連工事の施工を進めています。

6月末時点では、ダム本体施工に使われたタワークレーンや骨材貯蔵・運搬設備の解体撤去、流入水バイパス取水堰、管水路などの工事が行われています。



流入水バイパス取水堰建設地点（基礎掘削中）



流入水バイパス管水路（敷設中）

【工務課 渡辺聡嗣】

星空に願いを！

～今年で最後のプレゼント～



令和3年7月7日（水）、園児たちの願いがこもった短冊が、笹を鮮やかに彩りました。

当建設所では毎年、伊賀市にあるさくら保育園の「七夕会」に使われる笹と竹をプレゼントしています。今年は、笹の採れるダム事業用地に水を溜め始めることから、15年続くこの取り組みも最後となります。

7月5日（月）、園児たちのためにと集まった職員たち。蒸し暑さと戦いながら笹や竹を刈りました。採った笹は均等な長さにカットし、持った時に怪我をしないよう、持ち手にテープを巻き付けます。こうして整えた笹や竹を、無事に保育園まで届けました。

七夕会当日、元気いっぱいの園児たちと、先生による劇や玉入れを楽しみました。劇では、「ふたりが星になってもずっと一緒にいたい」という想いで天の川をつくった老夫婦の物語に、思わず筆者もうっとり。また、園児たちに混ぜてもらった玉入れでは、全力で走り回る姿に元気をもらい、一緒になってはしゃいでしまいました。「川上ダムを知っている人～？」という先生の問いかけにもみんな元気よく返事をしてくれ、「なんでダムを作るの？」「どうやってお家に水が届くの？」と興味津々で嬉しかったです。



みんな仲良くしてくれてほっとしました。

届けた笹に飾られたお願いごとは、将来の夢や、家族の健康など様々で、どれも素敵なものばかりでした。15年もの間、園児たちの夢を叶えるお手伝いできたことを嬉しく思うと共に、今後も色々な取り組みで関わっていただけると感じました。

さくら保育園のみんな、いっしょにあそんでくれてありがとう！みんなの夢が、織姫さまと彦星さまのもとへ届きますように。

【総務課 奥野紗江】

ダム完成に向かって！

現在、川上ダム本体建設工事では、4月に堤体コンクリート打設が完了し、6月には天端橋梁及び高欄も設置され、いよいよダム本体の建設工事の完了が近付いてきました。

下に並べた2枚の写真を見比べてもらうと分かるように、左の5月に撮影した写真にはタワークレーン2基とコンクリート製造設備がありますが、右の6月末に撮影した写真には2基あるタワークレーンの内1基とコンクリート製造設備が撤去されております。

本稿がみなさまに配布される頃には、もう1基のタワークレーンも撤去され、各写真の左下に見えている骨材を運ぶためのベルトコンベアーも撤去されている予定です。

今まではダムがどんどん高くなっていく姿を観ていただきましたが、これからは周りの設備が撤去されていく姿を眺めに、WELCOME川上ダム^{みてちょうだい}観眺台へぜひ足を運んでみてください。

※「WELCOME川上ダム^{みてちょうだい}観眺台」の開放時間等については、川上ダム建設所HPをご確認ください。



令和3年5月撮影



令和3年6月末撮影

～本体工事の進捗状況～

:完了

:施工中

:未実施

転流工	基礎掘削	堤体打設・基礎処理	試験湛水	完成!
H30.4▼ 仮排水路 トンネル	H30.9▼ 仮締切工	H31.4▼ 堤体打設進捗率100.0% 基礎処理進捗率93.9% (6月末時点)	▼現在	(R5.3予定)

【工事課 飯島芳則】

常用洪水吐き設備の模型 一般展示



先々月号の「川上ダム通信Vol. 190」にて紹介させていただいた、「常用洪水吐き設備の模型」をWELCOME川上ダム^{みてちょうだい}観眺台の情報館に展示しております。

実際に間近で見させていただくと、精巧に作られていることがよく伝わり、これが本当に趣味で作られた模型かと驚かされます。

また、常用洪水吐き設備の目的や各部の名称を記載したパネルも展示しておりますので、ぜひご覧ください。

【機械課 高橋慶太】

川上ダム水源地域ビジョン策定に向けて

川上ダムでは、管理移行までに「水源地域ビジョン」を策定する予定としています。「水源地域ビジョン」とは、完成後のダムを活かした水源地域の自立的・継続的な活性化を図るための行動計画のことです。

令和3年7月12日（月）には、この「水源地域ビジョン」を策定するための第1回作業部会を開催し、水源地域で地域活性化等の活動をされている方々などに集まっていただきました。作業部会では、地域特性を把握するために、参加していただいた方々からダム周辺地域において魅力に感じている歴史や文化、地場産業等に関するご意見をいただき、それを地図上に貼り付けて整理しました。今後、この成果を集約して「地域の魅力マップ」を作成し、これらを参考にして、地域の特性を活かした「水源地域ビジョン」の検討を行っていく予定です。

今後も作業部会の開催を重ね、地域の皆さまとともに持続的な賑わいの創出へ尽力してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



第1回作業部会の様子



地図上に貼り付けたご意見

【作業部会メンバー】

●作業部会委員

青山住民自治協議会、伊賀市商工会、伊賀上野観光協会（DMO）、伊賀川漁業協同組合、東洋文化資料館青山讃頌舎、伊賀市文化都市協会、青山ハーモニー・フォレスト、依那古体験隊、伊賀市、水資源機構

●オブザーバー

国土交通省近畿地方整備局、三重県、笠置町、南山城村、山添村、水資源機構（関西・吉野川支社）

【調査設計課 北爪 皓】

川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する興味や理解をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を予定しています。詳しくは当建設所HPをご覧ください。

【第33回】令和3年8月22日（日）【満員御礼】

【第34回】令和3年9月26日（日）

（令和3年8月2日より募集開始）

※第33回、第34回は第4日曜日の開催となります。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止とさせていただきます。

編集後記

令和3年も8月を迎え、暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。筆者は自宅のリビングにはエアコンを設置していないため、今年の夏はスポーツドリンクと気合で乗り切る予定です（非推奨）。

前年と同様に、新型コロナウイルスへの感染対策を実施しながらの夏となっておりますが、部屋を涼しくするなど、熱中症にもお気をつけてお過ごしください。

【広報誌発行事務局】

編集長	津久井（所長）		
デスク	荒木（総務課長）	渡辺（工務課長）	
記者	奥野（総務課）	近藤（用地課）	北爪（調査設計課）
	山田（工務課）	山下（工事課）	高橋（機械課）